

あ と が き

編集顧問

糸 満 盛 憲
越 智 隆 弘
小 野 啓 郎
菊 地 臣 一
黒 坂 昌 弘
清 水 克 時
高 岸 憲 二
竹 光 義 治
富 田 勝 郎
戸 山 芳 昭
内 藤 正 俊
守 屋 秀 繁
矢 部 裕
山 室 隆 夫

編集主幹

土 屋 弘 行
編 集 委 員
金 谷 文 則
黒 田 良 祐
仁 木 久 照
松 本 守 雄
松 山 幸 弘
山 本 卓 明
吉 川 秀 樹

オンライン投稿

ID : rinseige

パスワード : rinseige

この原稿を書いている5月初旬の沖縄は、暑いと思われる人もいるでしょうが、東京や大阪に比べると海風がある分、過ごしやすく感じます。さて、沖縄観光のbest seasonはいつかと聞かれることがあります。本誌を購読されている忙しい先生方には、台風で飛行機が欠航の可能性がある7~9月はお薦めしません。またこの時期は紫外線がとて強く、昼間のゴルフは過酷になります。過去のデータから10月の第4週には台風は来ないはずでしたが、昨年の10月第4週の日本整形外科学会基礎学術集会(沖縄県宜野湾市)では土日に台風が直撃しました。地球温暖化のせいかもしれません。晴天率は10月が最も高く、プロ野球の冬季キャンプが開催される1~2月は曇りの日が多く、梅雨は5~6月なので、大雑把には3~4月、10~12月がお薦めです。とはいっても正月でも晴れれば25°Cを超え、2月には日本で最も早い寒緋桜の開花もみられることから、12月~2月はとりわけ雪国の人にとって素晴らしい時期と思います。

本号の「誌上シンポジウム：変形性足関節症のフロントライン」は二木久照先生の素晴らしい企画です。足関節は下肢の荷重関節である股関節・膝関節に比べると人工関節の開発が遅れ、膝関節・肩関節・肘関節に比べると鏡視下手術が標準的とは言えませんでした。近年は鏡視下手術、骨切り術、人工足関節置換術の発展が著しく、このシンポジウムを通読いただければ変形性足関節症治療の進歩を実感できると思います。「Lecture」はcommon diseaseの1つで保存療法より自然治癒することが多いとされる「凍結肩の病態と治療」についてです。いわゆる「五十肩」の第一選択は保存療法で多くは治癒しますが、すべてが自然治癒するわけではなく、糖尿病患者は難治例が多く、手術療法も含めた病態に合わせた治療が必要なことを強調しております。「整形外科・知ってるつもり」の「リウマチ患者のBody Image」では、Body Imageと抑うつとの密接な関係が紹介されています。「境界領域・知っておきたい」では高齢者のロコモ・サルコペニア・フレイルの関係について記述されています。老年医学の分野ではフレイルが多く用いられ、ロコモとフレイルの違いを理解している内科医は多くありません。超高齢社会を迎えた日本で整形外科医がロコモ対策の主導権を持ち、健康寿命の延伸に貢献することが重要と考えます。

本号は有用な情報が満載されています。日常の臨床や研究にお役立ていただければ幸いです。(金谷文則)

臨床整形外科 (第53巻第6号)

2018年6月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,600円+税

2018年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 28,080円+税

冊子+電子版/(個人) 33,080円+税

電子版/(個人) 28,080円+税

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 俊

住 所 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電 話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 株式会社アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込 株式会社医業広告社 電話 (03)3814-1971

表紙デザイン ミスター・ユニバース株式会社

レイアウトデザイン 有限会社ベシック

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2018. Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。